



▲煙を出し、警笛を鳴らして走るSL。心地よい風に吹かれて乗るSLからはブルーメの丘の景色が一望できます

ブルーメの丘にSLが登場！ ミニSL電車開通式

4月28日(木)、滋賀農業公園ブルーメの丘でミニSL電車(ダンプロックス)開通式が開催されました。SLは、ポート池の周囲(約400m)を走行。5両編成で60人が乗車できます。春には、桜のトンネルを走るなど魅力が満載です。

式典では、日野幼稚園と西大路幼稚園の園児がテープカットを行い、記念に全園児がSLに乗車しました。

また、園児たちは数か月に一度組み替えられるという3月オープンの巨大迷路にも挑戦しました。

温かい歌声 被災地へ届け 東日本大震災被災者救済コンサート

4月29日(祝)、松尾公園で酔宵山コンサート実行委員会とくるま座らいぶによる「東日本大震災被災者救済コンサート」が開催されました。

毎年「酔宵山コンサート」を開催されていますが、「音楽で元気を」として、今年「救済コンサート」として開催され、町内外の7グループが懐かしいフォークソングやオリジナル曲などを演奏されました。

音響や設営などもすべて参加者皆さんによるものでした。歌声とともに、集められた義援金にも、温かい思いが込められました。



▲最後は、「あの素晴らしい愛をもう一度」の曲。手拍子が起り、みんなが一体となるフィナーレになりました

ゴールデンウィーク後半が見ごろでした 鎌掛溪ホンシャクナゲ群落

国の天然記念物に指定されている、鎌掛溪のホンシャクナゲ群落。今年は、4月の気温が低かった影響を受け、例年よりも咲き始めが遅くなり、ゴールデンウィークの後半が見ごろとなりました。

4月23日～5月8日の観光期間中には、約5、600人の観光客の方が訪れました。

谷あい一面に咲くホンシャクナゲを目にした観光客の方からは、「すごくきれい」と感嘆の声が上がり、花と新緑の美しさを満喫されました。



▲谷あい一面に咲くホンシャクナゲは美しいピンク色でした



▲神輿を担ぎ、威勢よく本通りを渡御する松尾の皆さん

伝統の祭 にぎわうまち

馬見岡綿向神社 春の例大祭 日野祭

5月2日(月)に宵祭、3日(祝)に本祭が行われ、約3万人が訪れました。

本祭は、3人の「神子」と袴姿の「神調社」、3基の神輿、16基の曳山などが宮入しました。

今年は、18年ぶりに16基すべての曳山が綿向神社に集結。東日本大震災による被災地復興を願う言葉が掲げられている曳山もありました。

伝統を守る地域の皆さんの思いで、町一帯が活気ににぎわいに包まれました。



▲18年ぶりにそろった16基の曳山を見ようと、大勢の観光客が馬見岡綿向神社を訪れました

芸術家が彩る 日野祭

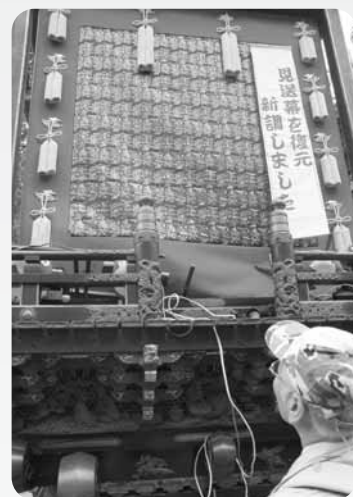
祭の棧敷窓アート開催



▲陶器で作られた昆虫。光を使って明かりにもなります



▲神調社とともに御旅所(ひばり野)へと向かう神子



▲雲と龍の図柄が美しい新調された新町の曳山「八景閣」の見送り幕